

記事活用へ新人 意欲 県経営者協研修会に64人



新入社員研修で新聞に目を通す受講者＝12日、福井市の県中小企業産業大学校



県経営者協会は12日、新入社員研修を福井市の県中小企業産業大学校で行った。研修の一環で新聞活用講座が開かれ、受講者はコミュニケーション力や社会性を身に付ける上で新聞が有効なツールであることに理解を深めた。

講座は同協会の会員企業を中心にこれまで2回行い、今回が最終回。20社から64人が受講した。ビジネス現場で新聞を活用する「NIBB(エヌ

アイビー)＝ニュースペーパー・イン・ビジネス」の取り組みを行っている福井新聞社の担当者が講師を務めた。

スマートフォンやインターネットの利用が広がる中でも、年代が上がるほど新聞の購読者は多いことを説明。「取引先などさまざまな世代の人とコミュニケーションを図る上で、新聞を役立ててほしい」と呼び掛けた。受講した太田雄大さん(28)は「お客さんと話をするようになるので、新聞を活用して政治にも関心を持ちたい」と話していた。

(藪内弘昌)